



BI ワークスペースユーザガイド

■ SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 4.0 Feature Pack 3

2012-05-09

著作権

© 2012 SAP AG. All rights reserved. SAP、R/3、SAP NetWeaver、Duet、PartnerEdge、ByDesign、SAP BusinessObjects Explorer、StreamWork、SAP HANA、および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。Business Objects および Business Objects ロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Decisions、Web Intelligence、Xcelsius、および本書で引用されているその他の Business Objects 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴも含めて、Business Objects Software Ltd. の商標または登録商標です。Business Objects は SAP の子会社です。Sybase および Adaptive Server、iAnywhere、Sybase 365、SQL Anywhere、および本書で引用されている Sybase 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴも含めて、Sybase, Inc. の商標または登録商標です。Sybase は SAP の子会社です。Crossgate、m@gic EDDY、B2B 360°、B2B 360° Services は、ドイツおよびその他の国々における Crossgate AG の登録商標です。Crossgate は SAP の子会社です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。これらの文書は SAP AG およびその関連会社（「SAP グループ」）が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP グループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP グループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

2012-05-09

目次

第 1 章	SAP BusinessObjects BI ワークスペースへようこそ.....5
1.1	このドキュメントについて.....5
1.2	このドキュメントの対象読者.....5
1.3	概要.....5
第 2 章	BI ワークスペースの操作.....7
2.1	概要.....7
2.2	BI ワークスペースの作成.....8
2.3	BI ワークスペースのコピーと保存.....9
2.4	BI ワークスペースの名前の変更.....9
2.5	BI ワークスペースの編集.....10
2.5.1	BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加.....11
2.5.2	BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前の変更.....12
2.5.3	BI ワークスペースタブおよびサブタブの移動.....12
2.5.4	BI ワークスペースタブまたはサブタブの複製.....12
2.5.5	BI ワークスペースタブおよびサブタブのスクロール.....13
2.5.6	BI ワークスペースのタブまたはサブタブの削除.....13
2.5.7	BI ワークスペースのプロパティ.....14
2.5.8	BI ワークスペースへのセキュリティの追加.....14
2.5.9	BI ワークスペースでのレイアウトの変更.....15
2.5.10	BI ワークスペースのモジュールライブラリ.....19
2.6	BI ワークスペースの印刷.....21
2.7	BI ワークスペースの削除.....21
第 3 章	モジュールの使用.....23
3.1	概要.....23
3.2	モジュールの種類.....23
3.2.1	BI 起動パッドモジュール.....23
3.2.2	複合モジュール.....24
3.2.3	テキストモジュール.....25
3.2.4	Web ページモジュール.....25
3.2.5	BI ワークスペースタブの [ナビゲーション一覧] の使用.....25

3.2.6	ビューアモジュール.....	26
3.3	モジュールの作成および設定.....	28
3.3.1	モジュールの使用.....	28
3.3.2	モジュールのデータソース.....	31
3.3.3	Crystal Report の表示設定.....	31
3.3.4	Web Intelligence レポートの表示設定	33
3.3.5	モジュールとドキュメントのリンク.....	35
3.3.6	コンテンツリンク.....	36
付録 A	より詳しい情報.....	41
	索引	43

SAP BusinessObjects BI ワークスペースへようこそ

1.1 このドキュメントについて

このドキュメントでは、SAP BusinessObjects BI ワークスペースの使用に関する情報と手順について説明します。BI ワークスペースは、BI 起動パッドアプリケーション内で機能するよう統合された Web アプリケーションです。BI 起動パッドは、SAP BusinessObjects Business Intelligence platform のオブジェクトを操作するためのインタフェースを提供します。Crystal レポート、BI ワークスペース、Analysis edition for OLAP、Web Intelligence ドキュメント、およびダッシュボードモデルなどの異なる種類のオブジェクト形式のさまざまなデータソースが、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームからのプラグインコンポーネントとしてアプリケーションにデプロイされ統合されます。このドキュメントでは、BI ワークスペースの新機能と機能強化に関する情報、BI ワークスペースやモジュールの種類や作成方法、また BI ワークスペースを使用したさまざまなデータソース間でのコンテンツのリンク方法について説明します。

1.2 このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、ビジネスレポートの作成者、プロフェッショナルレポートの作成者、または BI ワークスペース管理者など、Microsoft Windows、Unix または Linux オペレーティングシステム上で SAP BusinessObjects Business Intelligence platform および BI ワークスペースアプリケーションを使用するユーザを対象としています。データを深く分析し、効果的な統計を得るには、レポート生成、他の種類のデータソース、さまざまなコンテンツリンク方法に対する知識が必要です。

製品の詳細については、『BI ワークスペース作成入門ガイド』および『SAP BusinessObjects BI ワークスペースオンラインヘルプガイド』を参照してください。

1.3 概要

BI ワークスペースでは、モジュールとBI ワークスペースを使用して、事業活動や業績を管理、把握、監視、および追跡できます。会社用 BI ワークスペースを管理することにより、組織は基本となる分析に対する洞察を得て、条件の変化に対応してビジネスルールを変更することができます。BI ワークスペースは、クリティカルな業務分野を監視するための一貫性のある最新の手段を提供します。また、タブベースのナビゲーションとページ作成機能をすべてのユーザに提供します。プログラミングすることなくアプリケーションを簡単に構築でき、既存のアプリケーションをポイントをクリックするだけでカスタマイズできます。

BI ワークスペースを使用することで、次の作業を実行できます。

- ・ Web ベースのアプリケーションメニューと階層を構成します。
- ・ モジュールコンポーネントを選択し、それを必要なページにドロップすることでアプリケーションを構築します。
- ・ 定義済みモジュールテンプレートカタログからテンプレートを選択します。
- ・ これらの再利用可能な構築済みモジュールテンプレートを、さまざまなビジネスシナリオに適用します。
- ・ アプリケーションをカスタマイズします。

BI ワークスペースでは、コンテンツのルック & フィールを設定するためのシンプルな Web インタフェースが提供されています。Crystal レポート、Web Intelligence ドキュメント、ダッシュボードモデルなどのアプリケーションに既存のコンテンツを簡単に統合できます。ユーザは、管理上のコントロールを維持しながら、独自のアプリケーションビューを作成できます。

このドキュメンテーションの目的は次のとおりです。

- ・ BI ワークスペースの基本的な機能を理解する
- ・ さまざまな種類の BI ワークスペースとモジュールを理解する
- ・ BI ワークスペースおよびモジュールを作成する
- ・ モジュール間のコンテンツリンクについて学習する

注

Performance Manager、Set Analysis、Predictive Analysis、Process Control コンポーネント、および、ダッシュボードとアナリティクスのセットアップは削除されました。トレースオプションは、それぞれセントラル管理コンソール (CMC) サーバ概要セクションと統合トレースセクションに移動されました。

設定、概要、トレースの詳細については、『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド』、『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.0 機能パック 3 インストールガイド』、『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.0 機能パック 3 デプロイメント計画ガイド』、および『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームユーザーズガイド』を参照してください。

関連項目

- ・ [7 ページの概要](#)
- ・ [8 ページのBI ワークスペースの作成](#)
- ・ [29 ページのモジュールの作成](#)

BI ワークスペースの操作

2.1 概要

BI ワークスペースでは、Web Intelligence ドキュメント、ハイパーリンク、Crystal レポート、非ビジュアルモジュールなどの異なる BI プラットフォームデータソース、または、URL を介した Web ページなどの外部ページを単一のビューに整理および表示することができます。複雑なデータの分析や管理を効果的に行え、組織全体で情報を共有できます。BI ワークスペースを使用することで、組織の目標に対する可視性が向上し、組織の業績と成長を監視できます。BI ワークスペースでは、毎日追跡する必要のあるすべてのビジネス要素を見られる単一のビューと、ページコンポーネントが互いに通信して情報を交換できる Interportlet Communication 機能を提供します。

独自のレポートやカテゴリのポートフォリオを構築したり、1 つ以上の BI ワークスペースを作成し、必要に応じて表示できます。

BI ワークスペースには、次の種類のオブジェクトを含めることができます。

- ・ モジュール
- ・ Web Intelligence ドキュメント、SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP ドキュメント、およびダッシュボードモデル
- ・ Crystal レポート
- ・ Adobe Reader PDF ドキュメント
- ・ Microsoft Excel スプレッドシート
- ・ Microsoft Word 文書
- ・ テキストファイル
- ・ リッチテキスト (rtf) ファイル
- ・ Microsoft PowerPoint プレゼンテーション
- ・ ハイパーリンク

[ドキュメント] タブの次のフォルダに BI ワークスペースを保存できます。

- ・ パブリックフォルダ、お気に入り、および個人用カテゴリ
 - ・ [パブリックフォルダ] に保存された BI ワークスペースには、BI ワークスペースと、表示を共有するために作成されたモジュールが含まれます。これらの BI ワークスペースは、すべてのユーザがアクセスおよび表示できます。
 - ・ [お気に入り] または [個人用カテゴリ] に保存された BI ワークスペースには、BI ワークスペースと、個人的に表示するために作成されたモジュールが含まれます。ここには、個人でパラメータの拡張および変更ができるモジュールに関する情報が保存されています。これらの BI ワークスペースは、一部のユーザのみがアクセスおよび表示できます。[パブリックフォルダ]、[個人用カテゴリ] のどちらに保存されていても、BI ワークスペースには 1 つ以上のタブとサブタブが含まれます。

たとえば、頻繁にアクセスする Web サイト、Crystal レポート、または Web Intelligence レポートを含む BI ワークスペースを作成できます。この BI ワークスペースは、[個人用カテゴリ] または [お気に入り] フォルダに保存でき、デフォルト表示として設定することができます。また、ナビゲーションパネルにあるリンクをクリックして表示することもできます。BI ワークスペースのデフォルトの場所は、ユーザのお気に入りフォルダです。

関連項目

- ・ 8 ページの [BI ワークスペースの作成](#)
- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 21 ページの [BI ワークスペースの削除](#)

2.2 BI ワークスペースの作成

BI ワークスペースには、分析されたデータを基にした、有用な情報となるコンテンツを含めることができます。BI ワークスペースは戦略の定義にも役立ちます。BI ワークスペースおよび複合モジュールは、BI 起動パッド内でのみ作成および編集することができます。ユーザが権限により編集が可能でも、これには OpenDocument および PIK も含まれます。デフォルトの BI 起動パッドのホームページは読み取り専用です。BI ワークスペースでは、その他のカスタマイズされたホームページはすべて編集することができます。カスタマイズされたホームページが編集されると、変更内容は自動的に BI 起動パッドで使用可能になります。

BI ワークスペースを作成する

- 1 次の情報を収集します。
 - ・ BI ワークスペースまたはBI ワークスペースタブで伝達する情報の一覧。会社用 BI ワークスペースを作成する場合、対象ユーザを分析して必要な情報を決定します。多数の情報がある場合、情報のカテゴリを作成し、カテゴリごとに BI ワークスペースにタブを作成することを検討します。
 - ・ 使用するコンテンツの一覧。モジュールには、Web Intelligence レポート、ダッシュボードモデル、または Crystal レポートを含めることができます。
 - ・ BI ワークスペースタブおよびサブタブにおけるモジュールの整理方法の概要。必ずしも情報が多ければ良いということはありません。雑然とした、情報過多の BI ワークスペースは、非生産的です。
 - ・ 会社用 BI ワークスペースに関するデータセキュリティ上の問題の一览。たとえば、対象ユーザに適切なデータの種類、ユーザに表示するデータの詳細度などです。
- 2 BI 起動パッドでは、次の操作を実行して BI ワークスペースを作成します。
 - ・ [アプリケーション] > [BI ワークスペース] をクリックします。
- 3 ワークスペースにモジュールを追加するなど、必要な変更を行います。
- 4 [保存] または [名前を付けて保存] をクリックし、新しい BI ワークスペースの名前と保存場所を入力して [OK] をクリックします。
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 BI ワークスペースを保存する場所を選択し、カテゴリを割り当て、[OK] をクリックします。

注

BI ワークスペースを保存するフォルダを指定します。BI ワークスペースを [個人用カテゴリ] または [パブリックフォルダ] に保存します。

- 6 BI ワークスペースを編集するには、[BI ワークスペースの編集] をクリックします。
BI ワークスペースが編集モードで開きます。

関連項目

- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 7 ページの [概要](#)
- ・ 11 ページの [BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加](#)
- ・ 14 ページの [BI ワークスペースのプロパティ](#)

2.3 BI ワークスペースのコピーと保存

BI ワークスペースのツールバーで提供されているメニューオプションを使用して、新しい BI ワークスペースを保存するか、または既存の BI ワークスペースを開くことができます。[名前を付けて保存] オプションでは、既存の BI ワークスペースがコピーされ、入力した新しい名前で保存されます。

注

BI ワークスペースを保存しても、元の、または既存の BI ワークスペースは変更されません。[名前を付けて保存] オプションでは、新しい BI ワークスペースの名前を入力するダイアログボックスが表示されます。入力した新しい名前が個人用カテゴリまたはパブリックフォルダに存在する場合は、選択した場所にすでにその名前の BI ワークスペースが存在することを伝えるメッセージが表示され、BI ワークスペースは保存できません。重複する名前の BI ワークスペースがパブリックフォルダ、お気に入り、または個人用カテゴリに存在しない場合は、選択した場所に BI ワークスペースを保存できます。

2.4 BI ワークスペースの名前の変更

BI ワークスペースの名前を変更する

- 1 [ドキュメント] タブで、左側ペインの [パブリックフォルダ] を参照して、名前を変更する BI ワークスペースを選択します。
- 2 BI ワークスペースを右クリックして、[プロパティ] を選択します。
BI ワークスペースの [プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [一般プロパティ] ページの [タイトル] フィールドに BI ワークスペースの新しい名前を入力します。
- 4 [保存して閉じる] をクリックします。
BI ワークスペースが新しい名前で保存されます。

2.5 BI ワークスペースの編集

BI ワークスペースを編集するには、次を実行します。

- 1 [パブリックフォルダ] または [個人用カテゴリ] から BI ワークスペースの名前をダブルクリックするか、[ドキュメント] でカテゴリを参照します。
選択した BI ワークスペースが開きます。

- 2 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。
BI ワークスペースの編集ツールバーおよびモジュールライブラリ “ハンドル” が表示されます。

注

管理者は、CMC 内の特定の BI ワークスペースを編集する権限を割り当てます。BI ワークスペースを編集するには適切な編集権限が必要です。パブリックフォルダに保存された BI ワークスペースを編集すると、この BI ワークスペースを表示しているユーザすべてに変更内容が表示されます。個人用カテゴリに保存された BI ワークスペースを編集すると、変更内容は変更したユーザにのみ表示されます。

- 3 ワークスペースのプロパティを設定するには、タブまたはサブタブの右側にある矢印をクリックし、[プロパティ] を選択します。
[プロパティ] ウィンドウが表示されます。
- 4 レイアウトスタイルを選択して [OK] をクリックし、[プロパティ] ウィンドウを閉じます。

注


選択したレイアウトスタイルは、BI ワークスペース内のタブとサブタブを含めた BI ワークスペース全体に適用されます。ただし、タブまたはサブタブプロパティウィンドウから選択したレイアウトスタイルは、特定のタブまたはサブタブに適用され、BI ワークスペース全体には適用されません。

- 5 [モジュールライブラリ] でモジュールオブジェクトを選択し、レイアウト領域にドラッグします。使用する BI ワークスペースデザインに応じてサイズを変更し、適応させます。


注

モジュールライブラリから BI ワークスペースにドラッグアンドドロップしたモジュールは、その BI ワークスペースの埋め込みオブジェクトとして保存されます。[アプリケーション] > [モジュール] オプションを使用して作成されたテキストと複合モジュールは、CMS 内に独立した InfoObject として保存されます。


- 6 BI ワークスペースにタブまたはサブタブを追加します。
- 7 次のツールバーオプションを使用して BI ワークスペースを編集できます。

- ・ 新規 


新しい BI ワークスペースを作成します。


- ・ 開く 

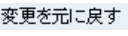
[パブリックフォルダ] または [お気に入り] カテゴリに保存されている既存の BI ワークスペースを開きます。


- ・ 保存 

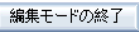
BI ワークスペースに加えた最新の変更を適用します。

- ・ 名前を付けて保存 

新しい BI ワークスペースを [パブリックフォルダ] または [お気に入り] カテゴリに保存します。
- ・ モジュールライブラリの表示 

モジュールライブラリを開きます。
- ・ 変更の復元 

BI ワークスペースに入力したすべての変更をキャンセルし、以前に保存したバージョンに戻します。
- ・ コンテンツリンク 

モジュール間のコンテンツリンクを有効にします。
- ・ 編集モードの終了 

編集モードを終了します。変更を保存していない場合、このアクションによって最後の保存以降に行った変更がキャンセルされます。

注

編集モードの終了を選択すると、BI ワークスペースへの変更の保存またはキャンセルを求められます。

関連項目

- ・ 11 ページの [BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加](#)
- ・ 15 ページの [BI ワークスペースでのレイアウトの変更](#)
- ・ 8 ページの [BI ワークスペースの作成](#)
- ・ 14 ページの [BI ワークスペースのプロパティ](#)

2.5.1 BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加

BI ワークスペースでタブおよびサブタブを作成することで、コンテンツ全体を正しく整理できます。

BI ワークスペースにタブおよびサブタブを追加する

- 1 ワークスペースを開きます。
- 2 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。
BI ワークスペースが編集モードで開きます。
- 3 BI ワークスペースでタブを作成するには、[新しいタブの追加] をクリックします。BI ワークスペースでサブタブを作成するには、[新しいサブタブの追加] をクリックします。
新しいタブの名前のフィールドが有効になります。
- 4 名前を入力し、Enter キーを押します。
名前は、編集モードでタブの名前の隣の矢印をクリックし、[名前の変更] を選択することによっていつでも変更できます。
- 5 タブまたはサブタブを設定します。

- 6 [保存] をクリックして編集内容を保存します。
- 7 BI ワークスペースの編集が終わったら、[編集モードの終了] をクリックします。
複数のタブまたはサブタブがある場合のみ、スクロールボタンが表示されます。スクロールボタンを使用して、タブとサブタブを切り替えたり、作成したタブまたはサブタブの一覧を表示したりできます。BI ワークスペースツールバーで [保存] をクリックすると、BI ワークスペースが保存されます。ただし、タブまたはサブタブを切り替えるときには、変更が保持されるので、[保存] をクリックする必要はありません。

関連項目

- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 19 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)

2.5.2 BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前の変更

BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前を変更する

- 1 BI ワークスペースから、名前を編集するタブまたはサブタブを選択します。
- 2 タブまたはサブタブタイトルの横にある矢印をクリックします。
- 3 メニューから [名前の変更] を選択します。
名前のフィールドがアクティブになります。
- 4 新しい名前を入力し、Enter キーを押します。
タブまたはサブタブは新しい名前で保存されます。

2.5.3 BI ワークスペースタブおよびサブタブの移動

BI ワークスペースタブおよびサブタブを移動する

- ・ BI ワークスペースから、移動するタブやサブタブを選択し、新しい位置にドラッグします。

注

サブタブを別のタブに移動するには、そのタブにドラッグアンドドロップします。

タブまたはサブタブが、BI ワークスペースツールバーの新しい位置に配置されます。

2.5.4 BI ワークスペースタブまたはサブタブの複製

BI ワークスペースのタブまたはサブタブを複製して、既存の BI ワークスペースタブと類似した新しい BI ワークスペースタブを作成できます。コピーした BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前を変更したり修正して作成することもできます。

たとえば、標準的な会社用 BI ワークスペースの [ようこそ] タブを作成して、会社のロゴ、ドキュメント、一般的な指標を掲載することができます。

注

BI ワークスペースのタブおよびサブタブを複製すると、複製したタブに含まれるすべてのモジュールもコピーされます。複製されたタブに含まれるサブタブの階層もコピーされます。

BI ワークスペースタブまたはサブタブを複製する

- 1 複製する BI ワークスペースタブまたはサブタブを選択して、タイトルの横にある矢印をクリックし、[複製] を選択します。
既存のオブジェクトの右に、オブジェクトの複製が表示されます。末尾に編集番号が付いたタイトルも表示されます。たとえば、“売り上げ” タブの複製を作成した場合、複製のタイトルは “売り上げ (1)” です。
- 2 必要に応じて、タブまたはサブタブの名前を変更します。

注



モジュールライブラリの [BI ワークスペース] カテゴリの BI ワークスペースオブジェクトを使用して、BI ワークスペースを再作成できます。項目を選択し、BI ワークスペースレイアウトにドラッグアンドドロップします。

関連項目

- ・ 12 ページの [BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前の変更](#)
- ・ 19 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)

2.5.5 BI ワークスペースタブおよびサブタブのスクロール

BI ワークスペースのタブまたはサブタブの数が、完全に表示できるタブの数より多くなる場合があります。表示されていないタブを表示するには、次を実行します。

- 1 BI ワークスペースから、編集するタブまたはサブタブを選択します。
- 2 次のコントロールを使用して、タブをスクロールおよび表示します。
 - ・  : BI ワークスペースのタブおよびサブタブを 1 つずつスクロールします。
 - ・  : ドロップダウンメニューからタブ名またはサブタブ名を選択します。

2.5.6 BI ワークスペースのタブまたはサブタブの削除

パブリックフォルダおよび個人用カテゴリに保存された BI ワークスペースで作成されたタブおよびサブタブを削除できます。

BI ワークスペースのタブまたはサブタブを削除する

- 1 BI ワークスペースで、削除するタブまたはサブタブを選択します。
- 2 そのタブで矢印をクリックし、[削除] を選択します。
- 3 [タブの削除] ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。

2.5.7 BI ワークスペースのプロパティ

BI ワークスペースの編集モードで BI ワークスペースタブまたはサブタブのプロパティメニューを表示するには、BI ワークスペースタブまたはサブタブにある矢印をクリックします。次のプロパティを設定できます。

- ・ ヘルプ URL

デフォルトのヘルプ URL をテキストボックスに入力するか貼り付けます。

- ・ スタイルシート

BI ワークスペースのスタイルシートを選択できます。BI 起動パッドの基本設定でデフォルトオプションを設定します。

BI ワークスペースのスタイルは、BI 起動パッドの基本設定で選択したスタイルシートから継承されます。BI ワークスペースサブタブのスタイルは、親の BI ワークスペースタブから継承されます。

2.5.8 BI ワークスペースへのセキュリティの追加

パブリックフォルダに保存されている BI ワークスペースは、大規模コミュニティ内や特定のグループ間で、重要な情報を共有します。これらの BI ワークスペースは、情報の共有に使用できます。

パブリックな BI ワークスペースでは、業務上の守秘義務や他の理由により複数のユーザと共有できない追加のセキュリティオプションを設定できます。BI プラットフォームセントラル管理コンソール (CMC) を使用して、あらゆる BI ワークスペースのセキュリティルールを設定できます。

会社用 BI ワークスペース内のデータへのアクセスは、次の方法で管理できます。

- ・ フォルダレベル: BI ワークスペースは BI 起動パッドの [パブリックフォルダ] に保存されます。管理者は、フォルダのアクセス設定、または各ユーザやユーザグループのアカウント設定を CMC で行うことで、フォルダへのアクセスを制限できます。
- ・ ユーザ権限: 特定の編集権限を持つユーザのみが BI ワークスペースを編集できます。

CMC を使って BI ワークスペースにセキュリティ機能を追加する

- 1 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームセントラル管理コンソール (CMC) で、[フォルダ] ビューから BI ワークスペースの一覧を展開し、BI ワークスペースを選択します。
- 2 BI ワークスペースを右クリックして、[ユーザセキュリティ] を選択します。
[ユーザセキュリティ] ウィンドウが開きます。

- 3 [主体の追加] をクリックします。
[主体の追加] ウィンドウが開き、利用可能なユーザとグループの一覧が表示されます。
- 4 [利用可能なユーザ/グループ] 一覧からユーザを選択し、[>] 矢印を使用してユーザを [選択されたユーザ/グループ] 一覧に移動します。
- 5 [セキュリティを追加して割り当てる] をクリックします。
[セキュリティの割り当て] ウィンドウが開き、使用できるアクセスレベルが表示されます。
- 6 [利用可能なアクセスレベル] セクションの次のセキュリティオプションから 1 つを選択し、[>] 矢印をクリックして [割り当てられたアクセスレベル] 一覧に追加します。

タイトル	説明
フルコントロール	フルアクセスの許可
フルコントロール (所有者)	オブジェクトへのフルアクセス権および所有権を付与します。
スケジュール	オブジェクトに対する表示権限、コンテンツオブジェクトのオンデマンド表示を許可する
表示	オブジェクトに対する表示権限を許可する
オンデマンド表示	オブジェクトに対する表示権限、コンテンツオブジェクトのオンデマンド表示を許可する

選択したアクセスレベルが [割り当てられたアクセスレベル] に移動されます。

- 7 [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。
[ユーザセキュリティ] ウィンドウが開き、選択されたアクセスレベルが [主体の追加] ページに表示されます。
- 8 [閉じる] をクリックして、CMC のフォルダビューに戻ります。

注

ビューアクセスレベルを選択すると、[BI ワークスペースの編集] ボタンは無効になります。

注

BI ワークスペースのアクセス権の設定の詳細については、『SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 管理者ガイド』の『アクセス権に関する付録』の項目を参照してください。

2.5.9 BI ワークスペースでのレイアウトの変更

BI ワークスペースで作成され、個人用カテゴリまたはパブリックフォルダに保存されたタブおよびサブタブのレイアウトを変更できます。

BI ワークスペースのレイアウトを変更する

- ・ 編集する BI ワークスペースで、次の手順でレイアウトスタイルを選択します。
 - ・ 特定のレイアウト書式を使用せずに BI ワークスペースにオブジェクトを配置するには、[自由形式] レイアウトを選択します。

- ・ 定義済みのレイアウトを使用する場合は、[テンプレート] レイアウトを使用します。行、列、または行と列のレイアウトを選択できます。
- ・ 列構造型の BI ワークスペースを構築する場合は、[列] レイアウトを選択します。

注

モジュールを含む BI ワークスペースのレイアウトを変更すると、新しいレイアウトモードに合わせてモジュールが再配置されます。

関連項目

- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 16 ページの [BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)
- ・ 17 ページの [自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)
- ・ 17 ページの [テンプレートレイアウトモードでの BI ワークスペースの操作](#)

2.5.9.1 BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定

BI ワークスペースの表示オプションを設定する

- 1 BI ワークスペースタブまたはサブタブを選択し、[BI ワークスペースの編集] をクリックします。
[コンテンツの編集] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 編集する BI ワークスペースモジュールのタイトルバーにある [編集] ボタンをクリックします。
- 3 [レイアウト] タブを開きます。
- 4 次のオプションから選択します。

オプション	説明
リンクとして表示 (名前だけを表示)	<p>モジュールがリンクされたオブジェクトとして表示され、クリックすると新しいタブに表示されます。</p> <p>注 [ビューア] モジュールを含む BI ワークスペース内のリンクをクリックすると、リンク先が [ビューア] に表示されます。</p>
タブ内のウィンドウ	モジュールがオブジェクトとしてタブに表示されます。
ウィンドウの罫線を表示	モジュールの周りに境界線を追加します。

- 5 [OK] をクリックします。

2.5.9.2 自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作

[自由形式] レイアウトモードでは、特定のレイアウト書式を使用せずに、BI ワークスペースのタブやサブタブ、または複合モジュールにオブジェクトを配置できます。[自由形式] モードでは、グリッドオプションを使用してオブジェクトを整列することができます。

[自由形式] レイアウトモードで BI ワークスペースを変更する

- 1 BI ワークスペースまたは複合モジュールの編集モードで、[レイアウト] 一覧から [自由形式] を選択します。ワークスペースの背景が空白になります。
- 2 空白の背景のグリッドを有効にするには、[グリッドサイズ] ドロップダウンリストからグリッドサイズを選択します。
- 3 [グリッドに配置] チェックボックスをオンにすると、レイアウト領域のオブジェクトがグリッドラインに配置されます。
レイアウトのオブジェクトを移動するか、新しいオブジェクトを追加すると、それらはグリッドラインに配置されます。

関連項目

- ・ 19 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)
- ・ 11 ページの [BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加](#)
- ・ 16 ページの [BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)

2.5.9.3 テンプレートレイアウトモードでの BI ワークスペースの操作

テンプレートレイアウトモードには、BI ワークスペースオブジェクトの複数のレイアウト書式が用意されています。

[テンプレート] レイアウトモードで BI ワークスペースを変更する

- 1 BI ワークスペースの編集モードで、[レイアウト] 一覧から [テンプレート] を選択します。
- 2 [定義済みのテンプレート] 一覧からテンプレートを選択します。

注

別のモードから [テンプレート] に切り替えると BI ワークスペースに次のような影響があります。

- ・ [自由形式] モードから切り替えたときに、BI ワークスペースオブジェクトが特定の順番にない場合、それらは隣接する列に配置されます。テンプレートを選択すると、そのテンプレートの行と列に合わせて BI ワークスペースオブジェクトが移動します。
- ・ [列] モードから切り替えてテンプレートを選択すると、テンプレートのセルに合わせて BI ワークスペースオブジェクトが移動します。
- ・ 選択した定義済みテンプレートにあるプレースホルダより多くのオブジェクトが存在する場合は、BI ワークスペースの 1 番下に追加のモジュールが付加されます。

- ・ テンプレートに切り替えるか、テンプレート間で切り替えると空のスポットが生じる場合があります。必要に応じて、モジュールを並べ替えてください。
- 3 ブラウザウィンドウのサイズを拡大/縮小するときに、BI ワークスペースの列がウィンドウの幅に合わせて調整されるようにするには、[目盛の幅] を有効にします。

注

[目盛の幅] と [目盛の高さ] は、テンプレートモードでのみ使用できます。

- 4 ブラウザウィンドウを拡大/縮小するときに、BI ワークスペースの行がウィンドウの高さに合わせて調整されるようにするには、[目盛の高さ] を有効にします。
- 5 コンポーネントを分割するには、コンポーネントツールバーにある次のいずれかのアイコンをクリックします。

オプション	説明
コンポーネントを左右に分割	コンポーネントが並列コンポーネントに分割されます。
コンポーネントを上下に分割	コンポーネントが上下のコンポーネントに分割されます。

注

これらのオプションは、[テンプレート] モードでのみ使用できます。

関連項目

- ・ 19 ページの[BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)
- ・ 17 ページの[自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)
- ・ 16 ページの[BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)

2.5.9.4 列レイアウトモードでの BI ワークスペースの操作

[列] レイアウトモードでは、BI ワークスペースオブジェクトの長さと幅を調節することで、列を追加、削除、サイズ変更できます。レイアウト内の各列をドラッグしてサイズを変更できます。これにより、BI ワークスペースの見やすさと操作性が改善されます。

[列] レイアウトモードで BI ワークスペースを変更する

- 1 BI ワークスペースの編集モードで、[レイアウト] 一覧から [列] を選択します。
- 2 次のコントロールを使用してレイアウトを定義できます。

オプション	説明
列の追加	レイアウトに列を追加します。
列の削除	レイアウトから列を削除します。
オブジェクトをクリックして、オブジェクトの辺をドラッグします。	それに応じてレイアウトおよびオブジェクトのサイズを変更します。

関連項目

- ・ 19 ページの[BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)
- ・ 17 ページの[自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)
- ・ 16 ページの[BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)

2.5.10 BI ワークスペースのモジュールライブラリ

[モジュールライブラリ] ツールバーで、次のオプションを使用できます。

- ・ テンプレート

カスタマイズしてデータを表示できる、次の定義済みのモジュールテンプレートが含まれます。

- ・ グループ
- ・ ナビゲーション一覧
- ・ テキストモジュール
- ・ ビューア
- ・ Web ページモジュール
- ・ BI 起動パッドモジュール

BI 起動パッドのホームページからのモジュールが含まれます。

- ・ マイアラート
- ・ マイアプリケーション
- ・ マイ受信ボックス
- ・ 最近実行したドキュメント
- ・ 最近表示したドキュメント
- ・ SAP StreamWork のフィード
- ・ パブリックモジュール

パブリックフォルダに保存された BI ワークスペースが含まれます。

- ・ プライベートモジュール

[個人用カテゴリ] または (ユーザの) [お気に入り] フォルダで現在使用可能なモジュールのリストが含まれます。

注

[プライベートモジュール] タブは、[お気に入り] や [個人用カテゴリ] に保存された個人用 BI ワークスペースを開いたときのみ表示されます。

- BI ワークスペース

すべての既存モジュールが含まれ、ユーザの権限に応じて使用可能な BI ワークスペースのリストを提供します。別の BI ワークスペースのタブ、サブタブまたはモジュールを、現在開いている BI ワークスペースに追加することができます。

- ドキュメントエクスプローラ

BI 起動パッドで使用可能な個人用カテゴリ、パブリックフォルダ、およびカテゴリを参照できます。ルートフォルダでは、フォルダやカテゴリを含む [ドキュメントエクスプローラ] が表示されます。

ヒント

モジュールライブラリを有効または無効にするには、BI ワークスペースのツールバーの [モジュールライブラリの表示] をクリックします。また、BI ワークスペースのレイアウトで、モジュールライブラリを固定するか浮動にするかを設定することもできます。

注

モジュールライブラリ内の既存のモジュールを、BI ワークスペースツールバーのタブまたはサブタブのレベルにドラッグアンドドロップすることができます。これにより、新しい BI ワークスペースを作成するときに既存のモジュールを再利用できます。

関連項目

- 8 ページの [BI ワークスペースの作成](#)
- 36 ページの [コンテンツリンク](#)

2.5.10.1 モジュールライブラリの検索

モジュールライブラリ上部の検索ボックスにキーワードを入力し、アイコンをクリックすることで、[SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム] 内の任意のドキュメントを検索できます。結果がモジュールライブラリツールバーの下に表示されます。結果をクリアするには、ツールバーのいずれかのアイコンをクリックします。

検索では、名前がキーワードに一致するすべてのドキュメントがフィルタされます。ただし、メタデータを検索することはできません。

注

BI ワークスペースに埋め込まれたモジュールのみを検索できます。モジュールは BI ワークスペース内の InfoObject ではないためです。[モジュールライブラリ] の検索機能は、パブリックフォルダ、テンプレート一覧、BI 起動パッドモジュール一覧、およびドキュメントエクスプローラに保存された BI ワークスペースまたはモジュールでは動作しません。『BI 起動パッドでの検索』の詳細については、『BI 起動パッドユーザガイド』を参照してください。

2.6 BI ワークスペースの印刷

印刷オプションでは、BI ワークスペースで動的コンテンツを表示したり印刷できます。特定のドキュメントを印刷のために再ロードする必要がないように、BI ワークスペースビューの現在の状態が表示されます。

ヒント

多数のオブジェクトを含む BI ワークスペースを印刷する場合は、最初にプリンタの設定を [横] に変更することをお勧めします。

BI ワークスペースを印刷する

- 1 BI ワークスペースで、ツールバーの [印刷] ボタンをクリックします。
[印刷プレビュー] ページが開き、印刷オプションと、印刷される BI ワークスペースタブまたはサブタブのプレビューが表示されます。
- 2 次のいずれかのオプションを選択します。
 - ・ 現在のタブ: 現在表示しているタブだけを印刷します。これはデフォルトオプションです。
 - ・ すべてのタブ: 現在表示している BI ワークスペース内のすべてのタブおよびサブタブを印刷します。
- 3 [印刷] をクリックします。
各 BI ワークスペースタブが 1 ページに印刷されます。

注

BI ワークスペースのコンテンツが 1 ページのサイズに調整されます。そのため、各項目が小さく表示される場合があります。

印刷プレビューを行うと、BI ワークスペースビューがデフォルトビューにリセットされます。たとえば、あるモジュールを含む BI ワークスペースには、デフォルトで 2007 年のスライス California のデータがロードされます。ユーザがスライスを Texas に変更し、スライダを 2005 年に移動したとします。ユーザが [印刷] をクリックすると、2005 年の Texas のデータはロードされず、2007 年の California のデータがロードされます。ユーザは印刷ページ内のスライスが Texas に変更されるように選択し、[印刷] をクリックすることができます。

2.7 BI ワークスペースの削除

BI ワークスペースを削除する前に、削除を実行するために必要な権限があることを確認してください。BI ワークスペースには、会社目的で重要な情報が含まれていることがあるため、BI ワークスペースを削除する前に関係者に確認することが重要です。

BI ワークスペースを削除するには、次を実行します。

- 1 BI 起動パッドの [ドキュメント] ペインから、BI ワークスペースを含むパブリックフォルダまたは個人用カテゴリノードに移動します。

- 2 [整理] > [削除] をクリックして、選択したワークスペースを削除します。

モジュールの使用

3.1 概要

モジュールは、BI ワークスペースに表示するデータを挿入するドキュメントです。モジュールは、Web Intelligence のドキュメント、Crystal レポート、ダッシュボードモデル、または、Web ページ、テキスト、または分析用のデータを表示するビューアモジュールなどの非ビジュアライゼーションモジュールを基にして作成することができます。モジュールを作成して BI ワークスペースに追加し、有効かつ効率的な方法でデータを表示できます。

BI ワークスペースで作成したモジュールは、BI ワークスペースに組み込まれたオブジェクトとして保存されます。モジュールに表示される情報は、データソースで保護されています。

テキストや複合モジュールを変更するには、[ドキュメント] タブからモジュールを開き、[モジュールツールバー] の [編集] ボタンをクリックします。

関連項目

- ・ 33 ページの [Web Intelligence レポートの表示設定](#)」
- ・ 31 ページの [Crystal Report の表示設定](#)」

3.2 モジュールの種類

3.2.1 BI 起動パッドモジュール

BI ワークスペースは、モジュールの主要なコンテナとして使用されます。BI 起動パッドは、BI ワークスペースタブフレームワークを使用して異なるページを表示します。デフォルトでは、ホームページが開き、最初のタブに表示されます。

共通の機能は、異なるユーザやグループに異なるホームページをカスタマイズして割り当てる機能を提供します。BI ワークスペース管理者は、カスタマイズしたホームページを作成し、これらをカスタマイズ強化機能を通して割り当てることができます。

BI 起動パッドは、モジュールを使用して、ホームページでユーザに関連性のある情報を提供します。これにより、[ドキュメント一覧] の [お気に入り]、[個人用カテゴリ]、または [パブリックフォルダ] をドリルダウンすることなく、ビジネス情報を簡単に取得できます。

次の BI 起動パッドモジュールを BI ワークスペースに追加できます。

- 1 マイアラート
- 2 マイアプリケーション
- 3 マイ受信ボックス
- 4 最近実行したドキュメント
- 5 最近表示したドキュメント
- 6 SAP StreamWork のフィード

注

このモジュールを BI ワークスペースに追加して、カスタマイズされた StreamWork ホームページとしてそのワークスペースを BI 起動パッドに定義できます。カスタマイズされたホームページの定義の詳細については、『BI 起動パッドユーザガイド』および『Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド』を参照してください。

3.2.2 複合モジュール

複合モジュールは、タブやサブタブのない簡易 BI ワークスペースです。これは、BI ワークスペース作成ワークフローに統合されています。BI 起動パッド から複合モジュールを作成できます。

複合モジュールを使用すると、1 つ以上の任意のモジュールの組み合わせを 1 つのページに作成できます。複合モジュールに含まれるモジュールは個別に編集されます。複合モジュールは、複数の BI ワークスペースタブで、そのコンテンツを繰り返し使用する場合に便利です。

たとえば、会社のロゴ、会社名、および守秘義務を含む、標準タイトルページまたはヘッダを BI ワークスペースに設定する場合、この情報をすべて含む複合モジュールを作成し、パブリックフォルダに保存します。

ほかの例として、モジュールの特定のレイアウトを再利用するには、複合モジュールを複合モジュールテンプレートに保存します。次に、このテンプレートに基づく他の複合モジュールを作成できます。ただし、各インスタンスのデータソースはリセットされます。

複合モジュールは、BI ワークスペースのビューアモジュールと連携させることができ、これにより、モジュールのリンクをクリックすると、リンク先は、別のブラウザウィンドウではなく、ビューアページ自体に表示されます。

注

複合モジュールは、Crystal レポートまたは Web Intelligence ドキュメントと同様に、保存された場所から再利用できます。

関連項目

- ・ 26 ページの [ビューアモジュール](#)
- ・ 17 ページの [自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)

3.2.3 テキストモジュール

テキストモジュールを使用して、BI ワークスペースにテキストブロックを追加できます。テキストは、ヘッダ、説明文、HTML、さらには BI ワークスペースビューアで開くことができる OpenModule ハイパーリンクなどに使用できます。BI 起動パッドまたは BI ワークスペースからテキストモジュールを作成できます。

テキストモジュールの設定

HTML コードまたはモジュールで使用するリンクテキストを作成する場合のベストプラクティスは、テキストエディタでコードを作成し、構文をモジュールテキストボックスにコピーして貼り付ける方法です。

このモジュールには次のプロパティを設定できます。

- ・ テキストの種類 (text または html)
- ・ 使用するスタイルシート

関連項目

- ・ 27 ページの[openModule を使用した BI ワークスペース上のビューアモジュールへの情報の送信](#)
- ・ 26 ページの[ビューアモジュール](#)

3.2.4 Web ページモジュール

Web ページモジュールは、BI ワークスペースのモジュールライブラリにある [テンプレート] カテゴリで使用できます。このカテゴリを BI ワークスペースで使用すると、Web ページや画像を表示できます。

画像の URL または相対パスのいずれでも使用できます。

BI ワークスペースでは、Web ページモジュールのすべての URL パラメータが in ポートパラメータとして公開されます。これにより、ユーザは、ワークスペースの同じページにあるリンクされたモジュールから値を送信することで、URL の元のパラメータを別の値に変更できます。

関連項目

- ・ 37 ページの[モジュールコンテンツのリンク](#)

3.2.5 BI ワークスペースタブの [ナビゲーション一覧] の使用

[ナビゲーション一覧] モジュールをビューアモジュールと一緒に使用すると、アクティブな目次の役割を果たすため、BI ワークスペースタブ上のスペースを最大限に利用できます。[ナビゲーション一覧] モジュール内のコンテンツの表示は、複数のスタイルから選択できます。

- 1 BI ワークスペースの編集モードで、[モジュールライブラリ] を開きます。
- 2 [テンプレート] カテゴリから、[ナビゲーション一覧] を BI ワークスペースのレイアウト領域にドラッグします。
- 3 [テンプレート] カテゴリから [ビューア] を BI ワークスペースのレイアウト領域にドラッグし、必要に応じて右下隅のサイズ変更アイコンを使用してサイズを変更します。
- 4 [モジュールライブラリ] の任意のカテゴリから [ナビゲーション一覧] までモジュールをドラッグします。

注

BI ワークスペースを [列] モードで編集している場合は、Ctrl ボタンを押したまま、オブジェクトを [ナビゲーション一覧] にドラッグアンドドロップします。

[ナビゲーション一覧] 内の項目を選択すると、その項目がビューに表示されます。

- 5 ナビゲーション一覧のツールバーにある [編集] ボタンをクリックします。
[コンテンツの編集] ダイアログボックスが表示されます。
- 6 [コンテンツ] タブでは、以下ができます。
 - ・ 必要に応じて、モジュールを整理するフォルダを作成する。
 - ・ ナビゲーション一覧の項目を整理する。
 - ・ モジュールプロパティを含む、ナビゲーション一覧の項目のプロパティを編集する。
 - ・ ナビゲーション一覧から項目を削除する。
 - ・ 項目の名前を変更する。
- 7 [レイアウト] タブでは、一覧のタイトルと説明を入力し、表示オプションとスタイルシートを選択します。
- 8 [ビューア] タブでは、ナビゲーション一覧項目のコンテンツを表示するビューアを選択します。
- 9 [OK] をクリックして、コンテンツとレイアウトの設定を保存します。

関連項目

- ・ 26 ページの [ビューアモジュール](#)
- ・ 16 ページの [BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)

3.2.6 ビューアモジュール

デフォルトでは、モジュールリンクから呼び出されたオブジェクトが開き、BI ワークスペースの全面に広がります。[ビューア] モジュールでは、openmodule 変数を使用するモジュールのリンクを通して、[ナビゲーション一覧] から呼び出されたオブジェクトを表示できます。[ビューア] では、モジュールのサイズ変更オプションも使用できます。

BI ワークスペースページに複数の [ビューア] モジュールを配置して、より詳細な分析のために、同時に複数のレポートを表示することができます。

たとえば、[ビューア] を含む BI ワークスペースタブでは、レポートを含むモジュールを選択すると、リンク先のモジュールが [ビューア] に表示されます。これにより、レポート自体とリンク先のモジュールを並べて表示できます。

ほかの例として、Web Intelligence ドキュメントを作成し、ビューアを使用して、メインドキュメント内のリンクから選択されたドキュメントを表示できます。

[ビューア] モジュールは、[ナビゲーション一覧] モジュールと一緒に使用すると特に役立ちます。ナビゲーションリストを目次として使用し、ビューアを表示ポートレットとして使用します。そうすることにより、BI ワークスペースのスペースを確保できます。

[モジュールライブラリ] > [テンプレート] から、BI ワークスペースの編集モードで [ビューア] モジュールを検索できます。BI ワークスペースにビューアを追加するには、[ビューア] を BI ワークスペースレイアウト領域までドラッグし、右下隅のサイズ変更アイコンを使用して必要に応じてサイズを変更します。

3.2.6.1 openModule を使用した BI ワークスペース上のビューアモジュールへの情報の送信

openModule 構文を使用すると、Central Management Server (CMS) の次のドキュメントから、BI ワークスペース上の [ビューア] モジュールに情報を送信できます。

- ・ Web Intelligence ドキュメント
- ・ Crystal レポート
- ・ テキストモジュール
- ・ Web ページモジュール

サンプル構文:

```
http://<server host>:<server port>/BOE/PerformanceManagement/
jsp/aa-open-inlist.jsp?target="hiddenFrame"&URL=<encoded URL is displayed as target URL
in the viewer>
```

例:

```
http://ildabvm0012:8080/BOE/PerformanceManagement/jsp/
aa-open-inlist.jsp?target="hiddenFrame"&url=http%3a%2f%2fildabvm0012%3a8080
%2fBOE%2fOpenDocument%2fopendoc%2fopenDocument.jsp%3fsDocName%3dComp%26sPath
%3d%5bTemp%5d
```

サンプルでキーとなる項目は、aa-open-inlist.jsp および target='hiddenframe' です。

- 1 テキストエディタで、このサンプル構文のコピーと貼り付けを行います。
- 2 {<server host>:<server port>} を Web アプリケーションの保存場所に置き換えて、先頭に「http://」を付けます。
例: http://<サーバー名>:<ポート番号>/PerformanceManagement/jsp
- 3 変数の後に適切な情報を入力します。
- 4 BI ワークスペースの {URL} を、表示する {URL} の名前に置き換えます。
- 5 次の場所にあるテキストのコピーと貼り付けを行います。
 - ・ Web Intelligence ドキュメントまたは Crystal レポートの場合は、クエリのセルにあるテキストをコピーしてから、レポートを実行します。

- ・ テキストモジュールの場合は、編集モードに移動して [表示するテキストまたは HTML を入力] テキストボックスにテキストを貼り付け、[html] を選択します。パブリックフォルダにモジュールを保存します。
 - ・ Web ページモジュールの場合は、編集モードに移動して [コンテンツ] タブの [Web ページの URL を入力] テキストボックスにテキストを貼り付け、[OK] をクリックします。[レイアウト] タブの [表示方法] セクションから、[リンクとして表示 (名前だけを表示)] を選択します。
- 6 BI 起動パッドで、[アプリケーション] > [BI ワークスペース] に移動します。
 - 7 タイトルを入力し、パブリックフォルダを選択して [OK] をクリックし、BI ワークスペースを保存します。
 - 8 [ドキュメント] をクリックし、パブリックフォルダ ノードから BI ワークスペースを選択します。
 - 9 BI ワークスペースを選択し、ダブルクリックして開きます。
BI ワークスペースが開きます。
 - 10 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。
 - 11 [モジュールライブラリ] から [ドキュメントエクスプローラ] タブをクリックしてレポートを探し、BI ワークスペースレイアウトまでドラッグします。
 - 12 [モジュールライブラリ] から [テンプレート] タブをクリックし、[ビューア] モジュールを BI ワークスペースレイアウトまでドラッグします。
 - 13 [保存] をクリックしてから、[編集モードの終了] をクリックします。
レポート内でリンクされている項目をクリックすると、ビューアにリンク先が表示されます。

3.3 モジュールの作成および設定

3.3.1 モジュールの使用

分析および表示する情報やデータの種類に応じてモジュールを編集できます。BI ワークスペースページに組み込まれたモジュールに対し、機能を実行できます。

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- ・ モジュールを BI ワークスペースに追加する
- ・ 既存のモジュールに基づいたモジュールを作成する
- ・ BI 起動パッドフォルダにモジュールを保存する
- ・ BI 起動パッドフォルダからモジュールを削除する
- ・ モジュールをドキュメントまたは他のモジュールにリンクする

関連項目

- ・ 30 ページの [モジュールライブラリから BI ワークスペースへのモジュールの追加](#)
- ・ 30 ページの [BI 起動パッドフォルダからのテキストまたは複合モジュールの削除](#)
- ・ 30 ページの [BI 起動パッドフォルダへのテキストまたは複合モジュールの保存](#)

3.3.1.1 モジュールの作成

特定のデータのパフォーマンスレベルと傾向変更を視覚化するにはモジュールを作成します。データは、Web Intelligence レポート、Crystal レポート、またはダッシュボードモデルの単一の個別クエリから取得できます。

モジュールは、次の方法で作成できます。

- ・ BI 起動パッドを経由

この方法でモジュールを作成すると、各ワークスペースのモジュールとモジュールのコンテンツを個別に表示、編集、および保存できます。

- ・ BI ワークスペースで直接

BI ワークスペース内でモジュールを作成すると、そのワークスペースの埋め込みオブジェクトとしてモジュールを保存できます。

関連項目

- ・ 29 ページの [BI 起動パッドのホームページからのテキストまたは複合モジュールの作成](#)

3.3.1.1.1 BI 起動パッドのホームページからのテキストまたは複合モジュールの作成

BI 起動パッドのホームページから [テキスト] または [複合] モジュールを直接作成するには、次を実行します。

- 1 BI 起動パッドのホームページで、[アプリケーション] > [モジュール] または [マイアプリケーション] > [モジュール] をクリックします。
[新規モジュール] が表示されます。
- 2 作成するモジュールの種類 (テキストまたは複合) のアイコンを選択します。
テキストモジュールを選択すると、テキストを作成するためのダイアログボックスが表示されます。複合モデルを選択すると、レイアウトツールバー、およびモジュールライブラリへのリンクが表示されます。
- 3 モジュールを設計するには、テキストを入力またはモジュールを追加してコンテンツを選択し、[OK] をクリックします。
- 4 [名前を付けて保存] リンクをクリックし、モジュールの名前を変更してターゲットロケーションに保存します。

3.3.1.1.2 テキストまたは複合モジュールの編集

[お気に入り] または [パブリックフォルダ] に保存されているか、BI 起動パッドの [ドキュメント] タブの [個人用カテゴリ] に保存されている、テキストまたは複合モジュールを編集できます。

注

Central Management Server に保存されているモジュールを編集すると、BI ワークスペースに埋め込まれたそのモジュールのすべてのインスタンスが編集されます。

3.3.1.1.3 BI 起動パッドフォルダへのテキストまたは複合モジュールの保存

テキストおよび複合モジュールは、BI 起動パッドの [ドキュメント] ノードの [お気に入り]、[パブリックフォルダ]、または [個人用カテゴリ] に保存できます。

モジュールを保存するには、次の手順を実行します。

- 1 モジュールを開いたまま、[名前を付けて保存] をクリックします。
モジュールの保存ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [ファイル名] フィールドに、モジュールの名前を入力します。
- 3 [モジュール] オプションが [型として保存] フィールドに選択されていることを確認します。
この手順は省略できます。[型として保存] フィールドは [モジュール] に自動的に設定されています。
- 4 モジュールを保存するフォルダの場所を検索します。

注

左側の枠で [フォルダ] をクリックします。[パブリックフォルダ] ノードが表示されます。

- 5 [パブリックフォルダ] ノードを展開して、[パブリックフォルダ] の一覧からフォルダを選択します。
すべての保存されたドキュメントを含む選択されたフォルダが開きます。
- 6 [保存] をクリックします。
モジュールは、[BI 起動パッド] 内の選択したフォルダに保存されます。

3.3.1.1.4 BI 起動パッドフォルダからのテキストまたは複合モジュールの削除

パブリックフォルダまたは個人用カテゴリに保存したテキストおよび複合モジュールを削除することができます。

注

BI ワークスペースで参照されているモジュールを削除すると、ドキュメントがシステム内に存在しないことを示すエラーメッセージが BI ワークスペースに表示されます。

テキストまたは複合モジュールを削除する

- 1 [ドキュメント] ノードで、モジュールを含むフォルダに移動します。
- 2 モジュールを右クリックして、[整理] > [削除] を選択します。

3.3.1.2 モジュールライブラリから BI ワークスペースへのモジュールの追加

BI ワークスペースは、主要なビジネス情報を提供するモジュールを含むタブで構成されています。BI ワークスペースには、Central Management Server (CMS) に保存されているモジュールまたは他の BI ワークスペースに埋め込まれているモジュールを含めることができます。

- 1 次のいずれかの操作を行います。
 - ・ 既存の BI ワークスペースを開く。
 - ・ 新しい BI ワークスペースを作成する。

- ・ 既存の BI ワークスペースまたは新しい BI ワークスペースにタブまたはサブタブを作成する。
- 2 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。
- 3 [モジュールライブラリ] で、次の手順で追加するモジュールを指定します。
 - ・ CMS からモジュールを挿入するには、[ドキュメントエクスプローラ]、[パブリックモジュール] または [プライベートモジュール] の各カテゴリからモジュールを選択し、ワークスペースにドラッグアンドドロップします。
 - ・ 新しいモジュールを挿入し、BI ワークスペースでカスタマイズするには、[テンプレート] カテゴリからワークスペースにモジュールをドラッグします。

注

これらのカテゴリから選択され、BI ワークスペース内で設定されたモジュールは、独立した InfoObject として CMS に保存されるのではなく、埋め込みオブジェクトとして BI ワークスペースに保存されます。埋め込みオブジェクトは、開くときに常に最新表示されます。

- 4 必要に応じて、モジュールを編集、サイズ変更、および移動します。
- 5 BI ワークスペースの編集が終わったら、保存し、[保存] > [編集モードの終了] をクリックします。

関連項目

- ・ 19 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)

3.3.2 モジュールのデータソース

BI 起動パッドでは、必要なデータを検索し、データを最適に表示できるモジュールの種類を選択できます。

データは以下から取得できます。

- ・ Excel シートからインポートされたデータを使ったダッシュボードモデル
- ・ Excel シートからインポートされたデータを使用して BI 起動パッドで作成された Web Intelligence レポート
- ・ Crystal Reports を使用して作成された Crystal レポート
- ・ テキストまたは HTML コンテンツを含むテキストモジュール
- ・ URL を含む Web ページモジュール

3.3.3 Crystal Report の表示設定

BI ワークスペースで Crystal Report の表示設定を行うには、モジュールツールバーの [編集] アイコンをクリックし、[コンテンツの編集] ダイアログボックスの [コンテンツ] タブで、次のオプションから選択します。

カテゴリ	オプション	レポートへの影響
表示するドキュメント	ドキュメント一覧	ドキュメントを参照するためのフォルダツリーを表示します。表の残りのカテゴリは、すべて使用可能なオプションを示します。
	ビューア	[ビューア]を介してレポートのコンテンツが表示されます。このオプションに関する設定は必要ありません。
このドキュメントの取得	ソースフォルダからのみ	表示されたドキュメントのソースを設定するオプションです。
	受信ボックスを先に確認して、コピーがない場合はソースフォルダから取得する	
	受信ボックスからのみ	
表示モード	パーツビュー	レポートの最初の部分しか表示されません。このオプションは、Crystal Reports を使用して設定および定義されたレポートパーツを持つレポートにのみ適用可能です。詳細は、『SAP Crystal Reports 2011 ユーザーズガイド』の『18.2.1.1.1 レポートパーツビューア』の項目を参照してください。
	ページビュー	レポート全体がデフォルトのビューアで表示されます。
ズームレベル	%	レポートを 25%、50%、100% の各ズームレベルで表示できます。詳細は、『SAP Crystal Reports 2011 ユーザーズガイド』の『13.3.7 マップのズームインとズームアウト』の項目を参照してください。
	カスタム	ズームレベルを指定します。

カテゴリ	オプション	レポートへの影響
レポートコンテンツ	オンデマンド	レポートを開くとレポートのコンテンツが最新表示されます。
	最新のインスタンス	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Scheduler の最新インスタンスのレポートデータが表示されます。
	ユーザ別の最新インスタンス	[<ユーザ名>] フィールドで設定した名前のユーザで、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Scheduler の最新インスタンスのレポートデータが表示されます。
表示するレポートパーツ	デフォルトのレポートパーツ	レポートパーツビューアで指定したレポートのデフォルトのレポートが表示されます。
	選択されたレポートパーツ	<p>指定したレポートパーツが開きます。</p> <p>このオプションの情報は、レポートの[レポートオプション]ダイアログボックスにあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [<オブジェクト名>]: 出力先オブジェクトとして使用するレポートオブジェクトの名前です。 ・ [<データコンテキスト>]: 出力先オブジェクトとして使用するデータコンテキストです。

レポートパーツおよび [レポートパーツビューア] に関する情報は、Crystal Reports のドキュメンテーションを参照してください。

3.3.4 Web Intelligence レポートの表示設定

BI ワークスペースでの Web Intelligence ドキュメントの表示方法を制御できます。レポートを BI ワークスペースにドラッグアンドドロップした後、レポート全体または一部分の表示を設定できます。

- ・ Web Intelligence ドキュメントの一部を選択するには、その部分を右クリックし、[このレポートパーツを選択] を選択します。[編集] をクリックして、レポートを編集します。
- ・ レポートパーツの選択を解除するには、そのパーツを右クリックして [このレポートパーツの選択解除] を選択します。

レポート全体が表示されます。

Web Intelligence レポートの表示設定を行うには、モジュールツールバーの [編集] アイコンをクリックし、[コンテンツの編集] ダイアログボックスの [コンテンツ] タブで、次のオプションから選択します。

カテゴリ	オプション	説明
表示するドキュメント	ドキュメント一覧	ドキュメントを参照するためのフォルダツリーを表示します。表の残りのカテゴリは、すべて使用可能なオプションを示します。
	ビューア	[ビューア] を介してレポートのコンテンツが表示されます。このオプションに関する設定はありません。
このドキュメントの取得	ソースフォルダからのみ	表示されたドキュメントのソースを設定するオプションです。
	受信ボックスを先に確認して、コピーがない場合はソースフォルダから取得する	
	受信ボックスからのみ	
レポートコンテンツ	オンデマンド	レポートを開くとレポートのコンテンツが最新表示されます。
	最新のインスタンス	SAP BusinessObjects Enterprise Scheduler の最新の実行からレポートデータが表示されます。
	ユーザ別の最新インスタンス	[<ユーザ名>] フィールドに入力した特定のユーザ名で、SAP BusinessObjects Enterprise Scheduler で実行された最新のインスタンスからレポートデータが表示されます。

カテゴリ	オプション	説明
表示モード	フルレポート	レポートがすべてのオプションを含むツールバーとともに表示されます。これらのオプションの詳細は、Web Intelligence のドキュメンテーションを参照してください。
	コンパクトモード	レポートが、ユーザの権限により決定されるオプションとともに表示されます。このオプションを使用すると、レポートの表示スペースを節約できます。ツールバーも表示されます。
	選択されたレポートパーツ	レポートパーツを選択した場合、このオプションがデフォルトで有効になり、パーツの ID がテキストボックスに表示されます。この ID は、別のアプリケーションで使用できます。 注 このオプションは、レポートの完全表示では使用できません。

3.3.5 モジュールとドキュメントのリンク

モジュールにリンクを追加すると、ユーザは、あるモジュールと他のモジュールの情報、または詳細な分析情報を示すドキュメントにアクセスしたり、これらを共有できます。

ダッシュボードモデル、Web Intelligence ドキュメント、Web ページモジュール、または Crystal レポートを使用するモジュールのリンク

1 つ以上のモジュールをリンクし、そのリンクにプロンプトパラメータを含めることができます。プロンプトパラメータを追加すると、リンク先のモジュールやドキュメントに表示されるデータは、最初のモジュールに表示される値に応じて動的に生成されます。次のものをリンクできます。

- ・ 単一のモジュールとドキュメント
- ・ 複数のモジュールとドキュメント

関連項目

- ・ 37 ページの [「モジュールコンテンツのリンク」](#)

3.3.6 コンテンツリンク

Interportlet Communication フレームワークを介して複数のコンポーネントを結合することを、コンテンツリンクといいます。コンテンツリンクを使用することで、BI ワークスペースのコンポーネントは、モジュールのビジュアル表示、およびモジュール間のデータ転送用リンクの作成により互いに通信できます。これにより、多様なモジュールでのデータの相互使用および転送が可能になります。ソースモジュールにデータを表示して、BI ワークスペースの次のターゲットモジュールのデータをリンクできます。

注

ダッシュボードモジュール、Web Intelligence ドキュメント、および Web ページモジュールのみが、コンテンツリンクのソースモジュールとして使用できます。

- ・ ソースモジュールおよびターゲットモジュールとしてのダッシュボードモデル

ターゲットモジュールとして定義されたダッシュボードモデルでは、ソースモジュールから情報を受信し、そのダッシュボードモジュールに定義されている変数への入力として利用します。

- ・ ソースモジュールおよびターゲットモジュールとしての Web Intelligence ドキュメントとターゲットモジュールとしての Crystal レポート

ユーザが、ソースモジュールとして定義されたダッシュボードモデルに対して対話操作を行うと、[BI ワークスペース] タブまたはサブタブ内でターゲットモジュールとして選択された Crystal レポートおよび Web Intelligence ドキュメントのプロンプトに、動的値がコンテンツリンクフレームワークを介して渡されます。

- ・ Web ページモジュール

Web ページモジュールは、Web ページまたは画像と別のレポートまたはモジュール間でイベントを転送するために、ソースまたはターゲットとして別のモジュールにリンクできます。

コンテンツリンクを使用することにより、外部インタフェース機能によって詳細なレベルで動的モジュールリンクを設定することができ、送信される情報を管理できます。詳細リンクを定義するには、BI ワークスペースのコンテンツリンクレイアウトにソースモジュールおよびターゲットモジュールごとに表示される範囲またはパラメータの一覧を選択します。

注

古い I/O ポートインジケータを介して、ターゲットモジュールとソースモジュール間で古いコンテンツをリンクできます。詳細リンクの場合、BI ワークスペースは、ソースレポートとターゲットレポート間で送信されたデータを解釈する必要はありません。このオプションは、ポータルデータ接続または FS コマンド接続を使用する旧バージョンのリリースで、Interportlet Communication に対応した BI ワークスペースを設計する場合に便利です。

表示されたソース範囲ごとに、対応するターゲット範囲、またはデータのビジュアル表示を送信する範囲を選択できます。ランタイムにソースモジュールでトリガされた所定の範囲に対し、BI ワークスペースは表示された範囲を判定し、その値を取得して、詳細リンクを基にターゲットモジュールに渡します。

コンテンツリンクを使用すると、範囲、プロンプト、リンクのフィルタなどのパラメータのプレビューを簡単に行えます。コンポーネントの一部をリンクまたはリンク解除するようユーザインタフェースを設定できます。リンクされているコンポーネントを識別するためのビジュアルインジケータを使用できます。

BI ワークスペースでコンテンツリンクを設定するには、BI ワークスペースツールバーで [コンテンツリンク] ボタンをクリックします。

3.3.6.1 モジュールコンテンツのリンク

Web Intelligence モジュールでコンテンツリンクを実行するには、最初に次を実行する必要があります。

- 1 BI 起動パッドのホームページから [基本設定] を選択します。[基本設定 - 管理者] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 左側のペインの [基本設定] 一覧から、[Web Intelligence] を選択します。
- 3 メインペインの使用可能なオプションの [表示] 一覧から、[Web] を選択します。

同じ BI ワークスペースタブまたはサブタブに配置されているダッシュボードモデル、Web Intelligence ドキュメント、Crystal レポートモジュール、および Web ページモジュール間に動的ビジュアル通信を設定できます。ソースモジュールは、実行時に 1 つまたは複数のターゲットモジュールに情報を送信します。ターゲットは、ソースモジュールから送られた情報をパラメータ値として使用します。これらのパラメータ値は、Web Intelligence ドキュメント、Crystal レポート、または Web ページモジュールの場合にはプロンプトの入力として、またはダッシュボードモデルのデータスプレッドシート範囲への入力として使用されます。

留意点

BI ワークスペースのダッシュボードモデルをソースモジュールとターゲットモジュールの両方で使用するには、ダッシュボードを使用して [外部インタフェース接続] でレポートを設定する必要があります。ダッシュボードモデルでのポータル接続の設定の詳細については、『Dashboard および Presentation Design のユーザガイド』を参照してください。

ソースのダッシュボードまたは Web Intelligence モジュールとその他のターゲットモジュール間の動的通信を容易にするには、外部インタフェース接続コンポーネントを使用します。[パラメータ] セクションで値を選択して、モジュール間のリンクを開始します。この情報は、ソースモジュールからターゲットモジュールに送信され、プロンプト値として使用されます。

コンテンツをリンクする

- 1 [モジュールライブラリ] から、ソースのモジュールを BI ワークスペースレイアウトにドラッグします。
- 2 1 つまたは複数のターゲットモジュールをワークスペースレイアウトにドラッグします。

注

次のターゲットモジュールをコンテンツリンク用に設定できます。

- ・ ダッシュボードモデル
- ・ Crystal レポート
- ・ Web Intelligence ドキュメント
- ・ Web ページモジュール

- 3 [BI ワークスペースツールバー] で、[コンテンツリンク] をクリックします。選択可能なソースモジュールおよびターゲットモジュールとともに [コンテンツリンク] ダイアログボックスが表示されます。パラメータがテーブルに表示されます。

点線で表示されるビジュアルリンクは、モジュール間で作成され、可能性のある接続を表示しています。点線は、パラメータマッピングが実際の接続になるよう設定する必要があることを示します。ソース/ターゲットモジュール、および関連するソース/ターゲットパラメータを含むテーブルが表示されます。

- 4 [パラメータマッピング] テーブルの [ソースパラメータ] 列から、マッピングするパラメータを選択し、[ターゲットパラメータ] 列の対応する行からリンクされているモジュールのターゲットパラメータを選択します。
パラメータの組み合わせが完了すると、モジュールがリンクされます。接続に色が付き、実線で表示されます。

注

コンテンツリンク接続は、以下のインジケータによって表されます。

- ・ 詳細リンク: 丸いアイコン (パラメータありの接続)
- ・ インポートデータ: 青
- ・ 出力データ: 緑
- ・ リンク/接続: オレンジ

- 5 [閉じる] をクリックします。

3.3.6.2 上級: Interportlet Communication (IPC) の Web ページモジュール I/O パラメータの公開

BI ワークスペースで提供される API を使用すると、ワークスペース作成者は、Web ページモジュールと他の IPC 対応モジュール間で送信できるイベントを定義できます。Web ページモジュールは、ソースモジュール (out ポートでパラメータ値を送信) またはターゲットモジュール (in ポートで値を受信) になります。

次の API メソッドが使用されます。

```
/*
Declare the list of in and out parameters that the module exposes, and the callback method to handle events
received by the module
@paramIn - String array of parameter names that the module can receive
@paramOut - String array of parameter names that the module can send
@callback - Function to invoke upon receipt of events from other modules. Likely to
be used when the module receives events, and @paramsIn is expected to be populated
*/
exposeModuleParameters(paramsIn, paramsOut, callback)

/*
Send parameters to modules connected through the "Content Linking" dialog box with this module
@paramNames - Array of parameter names
@paramValues - Array of parameter values
The two arrays must be in the same order (name-value pairs)
*/
sendParameters(paramNames, paramValues)
```

この API を使用してモジュール間にコンテンツリンクを実装するには、次を実行します。

- 1 他のモジュールから受け取ったパラメータおよび値を処理するコールバックメソッドを実装します。
このコールバックは、イベントがモジュールに送信されると、BI ワークスペースフレームワークにより呼び出されます。
- 2 モジュールのロード中に、exposeModuleParameters 関数を呼び出すために、関連するパラメータおよび提供されたコールバックで parent.exposeModuleParameters() を呼び出します。

- 3 コンテンツリンクを通じて接続された他のモジュールにパラメータデータを送信するには、sendParameters 関数を呼び出すために、関連するパラメータデータで parent.sendParameters() を呼び出します。

例 Web ページモジュール間のコンテンツのリンク

BI ワークスペースインストールに付属しているサンプルソースおよびターゲット Web ページモジュール (SampleSource_WPM.html および SampleTarget_WPM.html) を使用して、基本コンテンツリンクを実装することができます。

- 1 BI ワークスペースに新しいワークスペースを作成する。
- 2 モジュールライブラリから [Web ページモジュール] をワークスペースにドラッグします。
- 3 他の [Web ページモジュール] は、ワークスペースの最初のモジュールの右側にドラッグします。
- 4 最初のソース Web ページモジュールのモジュールツールバーの [編集] アイコンをクリックします。[コンテンツの編集] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 [Web ページの URL] フィールドで、ソースサンプル Web ページモジュールをポイントする URL (例: http://samples/SampleSource_WPM.html) を入力します。
- 6 前述の 2 つの手順を繰り返して、ターゲット Web ページモジュールの URL を定義します。
- 7 BI ワークスペースツールバーで、[コンテンツリンク] をクリックします。[コンテンツリンク] ダイアログボックスが表示されます。上部のダイアグラムに、ソースモジュールとターゲットモジュールが表示されます。[使用できる接続] テーブルには、リンク可能なモジュールおよびポートが一覧表示されます。
- 8 図の中で、ソース Web ページモジュールの out ポート (PARAMETERS_OUT) から、ターゲット Web ページモジュールの in ポート (PARAMETERS_IN) に接続線をドラッグします。リンクサークル内が [0] の場合、モジュール間でパラメータがマッピングされていないことを示します。
- 9 右側の [パラメータマッピング] テーブルで、[ソースパラメータ] 列のパラメータに対応する [ターゲットパラメータ] 列のドロップダウンリストからパラメータを選択し、各行のパラメータをマッピングします [ターゲットパラメータ] 列での選択は、たとえば次のようになります。

- ・ yearParam
- ・ countryParam
- ・ stateParam

マッピング後は、図のリンクサークル内に [3] が表示されます。

- 10 [閉じる] をクリックしてワークスペースを保存します。
- 11 ソースモジュールで、下部にある [単一パラメータ] および [複数のパラメータ] セクションのドロップダウンリストから値を選択します。関連する [送信] ボタンをクリックすると、ターゲットモジュールの対応するフィールドに各値が転送されます。

関連項目

- ・ 25 ページの [Web ページモジュール](#)
- ・ 35 ページの [モジュールとドキュメントのリンク](#)
- ・ 37 ページの [モジュールコンテンツのリンク](#)

より詳しい情報

情報リソース	場所
SAP BusinessObjects 製品情報	http://www.sap.com
SAP ヘルプ ポータル	<p>http://help.sap.com/businessobjects/ へアクセスし、[SAP BusinessObjects Overview] サイドパネルから [All Products] をクリックします。</p> <p>SAP ヘルプ ポータルでは、すべての SAP BusinessObjects 製品とそのデプロイメントについて扱った最新のドキュメンテーションにアクセスできます。PDF 版またはインストール可能な HTML ライブラリのダウンロードが可能です。</p> <p>一部のガイドは SAP サービス マーケットプレイスに格納されており、SAP ヘルプ ポータルからは入手できません。ヘルプ ポータルのガイド一覧で、そのようなガイドには SAP サービス マーケットプレイスへのリンクが付いています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。</p>
SAP サービス マーケットプレイス	<p>http://service.sap.com/bosap-support > ドキュメンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インストール ガイド: https://service.sap.com/bosap-instguides ・ リリース ノート: http://service.sap.com/releasenotes <p>SAP サービス マーケットプレイスには、一部のインストール ガイド、アップグレードおよび移行ガイド、デプロイメント ガイド、リリース ノート、サポート対象プラットフォームに関するドキュメントが格納されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。SAP ヘルプ ポータルから SAP サービス マーケットプレイスにリダイレクトされた場合は、左側のナビゲーション ペインのメニューを使用して、アクセスするドキュメンテーションが含まれているカテゴリを探します。</p>
Docupedia	<p>https://cw.sdn.sap.com/cw/community/docupedia</p> <p>Docupedia は追加のドキュメンテーションリソース、協調的なオーサリング環境、および対話型のフィードバックチャネルを提供します。</p>

情報リソース	場所
開発者向けリソース	https://boc.sdn.sap.com/ https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/businessobjects-sdklibrary
SAP Community Network 上の SAP BusinessObjects に関する記事	https://www.sdn.sap.com/irj/boc/businessobjects-articles これらの記事は、以前はテクニカル ペーパーという名称でした。
ノート	https://service.sap.com/notes これらのノートは、以前はナレッジ ベース記事という名称でした。
SAP Community Network 上のフォーラム	https://www.sdn.sap.com/irj/scn/forums
トレーニング	http://www.sap.com/services/education 弊社では、従来のクラス型の学習から目標を定めた eラーニング セミナーまで、学習ニーズや好みの学習スタイルに合わせたトレーニング パッケージを提供しています。
オンライン カスタマー サポート	http://service.sap.com/bosap-support SAP サポート ポータルには、カスタマー サポート プログラムとサービスに関する情報が含まれています。また、さまざまなテクニカル情報およびダウンロードへのリンクも用意されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。
コンサルティング	http://www.sap.com/services/bysubject/businessobjectsconsulting コンサルタントは、初期の分析段階からデプロイメントプロジェクトの実現まで一貫したサポートを提供します。リレーショナル データベースと多次元データベース、接続、データベース設計ツール、カスタマイズされた埋め込みテクノロジーなどのトピックに関する専門的なサポートを行います。

索引

B

BI 起動パッドのモジュール 29
BI ワークスペース 31
 移動 12
 印刷 21
 カスタマイズ 10, 15
 個人 7
 コピー 12
 コンテンツリンク 36
 削除 13, 21
 作成 8
 自由形式レイアウトモード 17
 スクロール 13
 タブおよびサブタブの追加 11
 テンプレートレイアウトモード 17
 名前の変更 9, 12
 プロパティメニュー 14
 モジュール 23
 モジュール表示オプション 16
 モジュールライブラリ 19
 列レイアウトモード 18

C

Crystal レポート 31

D

Dashboard Design モジュール, コンテン
ツリンク 37

O

OpenModule 27

W

Web Intelligence 33
Web ページモジュール 25

こ

コピー, 保存 9
コンテンツリンク 37

さ

作成 29

せ

セキュリティ 14

つ

追加 30

て

テキストモジュール 25

な

ナビゲーション一覧、ビューア 25

へ

編集 28

も

モジュール 25, 26, 28, 30
 削除 30
 データソース 31
 編集 29
 保存 30
モジュールの作成 29
モジュールの表示
 複数のビューア 26
モジュールライブラリ 19, 28
モジュール、リンク 35

